



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2008~2009)

- ・国際協会会長 『Be the Light of Hope』
V.S.Bashir (India インド) 「希望の灯となろう」
- ・アジア地域会長 『Be the Light of Hope』

- Rita .Hettiarachchi (Sri Lanka スリランカ)
- ・西日本区理事 『思いやりを持ってワイズライフを!』
佐藤 典子 (熊本ジェーンズ) "Share with a smile"
- ・六甲部 部長 『"悠々として急げ" ワイズライフ』
山口 政紀 (西宮) 「Festina Lente」
- ・西宮クラブ会長 『参加して、奉仕しよう!』

演 浩一 "Let' s join us in serving others!"

2009年1月 西日本区強調ポイント "TOF・CS・FF"

私たちがともに歩む仲間へ? 「世界へ、アジアへ、地域へ、HIV/AIDSへ、環境へ!」
私たちの持っているものを分かち合うために・・・TOF・CS・FFを!

杉浦 真喜子地域奉仕・環境事業主任

(大阪なかのしまワイズメンズクラブ)

2009年2月

729号 60周年

《62期8号》

since 1948. 5. 17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

- 会 長 濱 浩一
- 直前会長 小野 勅紘
- 副会長(次) 浅野 純一
- 副 会 長 岩田 健司
- 書 記 小野 勅紘
- 書 記 丸山 悦治
- 会 計 山本 常雄
- 会 計 藤原 百合子
- 監 事 小林 光枝
- 監 事 足立 康幸
- 担当主事 三島 浩司
- 六甲部長 山口 政紀
- 六甲部書記 廣瀬 一雄
- 六甲部会計 足立 康幸

2009年2月第1例会のご案内

今月のテーマ: 『TOF・CS・FF』

日時: 2009年2月20日(金)午後7時~

場所: 西宮 YMCA 保育園3Fホール

ドライバー: 小野メン、藤原メン

1. 開会点鐘 演会長
2. ワイズソング 一同
3. 今月の聖句朗読
4. ゲスト紹介 演会長
5. ゲストスピーチ

『 家庭でできる環境エコ 』
神戸ポートワイズメンズクラブ
細見 俊雄 メン

6. 誕生日のお祝い ドライバー
7. Y's ニュース・お知らせ 演会長
8. YMCA 報告 三島主事
9. 閉会点鐘 演会長

【今月の言葉】 『TOF・CS・FF』

TOF Time of Fast 断食のとき CS Community Service 地域奉仕 FF Family Fast 家族での断食

今月の聖句

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。 [ヨハネによる福音書 15章12~1節]
佐野信三メン 選

1 月 例会出席状況 在籍会員数 21名

第1例会 (1. 17土)	第2例会 (12. 28金)
メ ン 10名	メ ン 5名
メネット・コメント 1名	メネット 0名
ゲスト・ビジター0名	ゲスト・ビジター0名
合計 11名	合計 5名

Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

3日 小野勅紘メン

21日 山本常雄メン

25日 長井多美子メネット

ご覧ください。URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

会長メッセージ

濱 浩一 会長

1月例会は新春YYフォーラム(詳しくは長井メンより)でした。若い人たちとの交流もでき、素晴らしいフォーラムでした。

フォーラム後に、神戸クラブの例会にも参加し、美味しいふぐをたらふく頂きました。あと半年、頑張りますので、引き続き、会員各位のお支えをどうぞく宜しくお願い致します。寒き日が続きますが、ご自愛下さい。

1月例会報告

ドライバーYサ担当 長井慎吾メン

1月17日(土)午後1時より神戸YMCAにて新春ワイワイフォーラムが開催されました。テーマは、「生きる力」ってどんな力?楽しくなければ生きていけない!でも生きる厳しさもあるよね!・・・でした。

中道基夫氏(神戸キリスト教青年会副会長)司式による個性的な礼拝で始まります。ワイズメン、幼稚園の先生、留学生(スリランカ)が、震災の経験や祖国の内戦の話を「人々の声」として朗読し、間に讃美歌が入る参加者と一体化した心にしみる礼拝です。いつも仕掛けに工夫が凝らされていると感心する礼拝です。祖国の平和を祈る留学生の訴えは、震災一色かと思いきりこんでいた私をハッと気付かせる声でした。礼拝の最後に、平和と正義の宣言を共に唱え心を合わせます。最後の一節「わたしたちは信じます。神の力に動かされたわたしたちは、この世界を変革できることを。この世界に、正義と平和をもたらすことができることを」第二部は、ディベートです。リーダーvsワイズで3人ずつグループとなり、「生きる喜びはお金?それとも愛?」をテーマに壇上で討論をします。

私の思いとしては、当然「愛」となりますが、白熱した討論を聞いて、「衣食足りて礼節を知る」という言葉もあるな。となると、愛の手をさしのべるには、空腹を満たし、恥ずかしくない着物を得るお金がなければだめなのでは?お金先なのかな?と考えさせられる機会でした。

第三部は、グループ討議です。私は、ディベートでインプットされた問いかけが「う～ん?どっちが先か

な」と考えがまとまらないままの参加でした。グループは、ワイズ、幼稚園の先生、リーダー、スタッフなど10人弱の混成グループです。

「生きる力って どんな力?」とのテーマで話し合いますが、少々課題が重たいので、「生きる喜びは?」に置き換えて意見交換しました。幼稚園の先生は、初めて先生として子供たちの前に立った時、不安で一杯だが子供たちは自分のことを「先生」と呼んでくれることが嬉しくて、辛いことも乗り越えることが出来た。自分の存在を認めてくれる人が居ることが支えとなる。中国から留学してYMCAスタッフとなった方からは、言葉がよく話せない異国で一人で頑張れたことは、いつも自分を気にかけてくれる両親が居るから。やはり、人は一人では生きていけない。支えあっているのだな、と思いなおす機会でした。

その後は、おいしいぜんざいでホットした後、参加者全員でそれぞれの話し合いを1枚の模造紙にまとめ報告し合いました。宝塚クラブの石田メン(六甲部広報主査)からワイズの活動報告が分かりやすいパワーポイントで紹介されました。最後に山口六甲部長の挨拶とリーダー指導のキャンプソングで締めくくりとなりました。

参加は、浅野、足立、岩田、小野、阪根、廣瀬、濱、山口、山口メネット、三島、長井でした。

六甲部長 山口政紀メン

2009年1月17日(土)に13時から「新春わいわいフォーラム」が開催されました。

場所は神戸YMCA 三宮会館チャペルと5階教室他。

120名を超えるワイズ関係者とYMCA関係者が集いました。(ユースリーダー、職員、保育所・幼稚園関係者、国際ボランティアなど)

全体の進行を神戸西クラブの加茂周治主査が担当していただきました。

中道基夫牧師(YMCA副会長)の司式で開会礼拝があり、賛美歌を歌い、祈りを共にしました。3人の方々の声は「震災や戦乱」にある時にも神様がともにいて下さることを信じることでした。それは、すべてが切り裂かれ絶望にいる時にも、闇のなかに

小さな火が灯り、切株から新しい芽が出るように、つまり新しい「いのち」が萌え出ることでした。

神戸クラブの馬場芳郎メンの言葉を山口徹メンが語って下さいました。

今年のテーマは「生きる力は？」これを共に考えようと、ディベートと分団で「楽しく生きる」ことや、「生きる厳しさ」とともに学びました。

ディベートの「お題は」、生きるのに大切なのは「お金！」それとも愛！」・・・・・・・・。

司会は神戸西クラブの加茂周治主査、ディベート参加者は神戸クラブ山口徹メン、神戸ポートクラブ大野勉主査、宝塚クラブ多胡葉子会長、神戸学園都市クラブ中村剛会長、さんだクラブ中條道雄メン、芦屋クラブ柏原佳子会長でした。

ワイズ六甲部 8 クラブの活動報告は宝塚クラブ石田由美子主査（広報）がパワーポイントとプロジェクターを使って各クラブの奉仕活動や六甲部会（余島）、チャリティーランなどを皆さんにしっかりと伝えて下さいました。

「御ぜんざい」もいただき、愉快的な発表とみんなで歌をうたい、今年もそれぞれの活動を通して「平和と生きること」の大切さを「子どもや若者」にしっかりと伝えようと励まし散会しました。参加下さったかたがた、準備をして下さった方々に感謝！

すべてのクラブの積極的な参加に感謝申し上げます、有難う御座いました。

西日本区と六甲部から「わいわいフォーラム」開催に支援金を贈りました。

08-09六甲部活動報告

広報事業主査 石田由美子メン（宝塚クラブ）

08-09六甲部、及び、各クラブにおける前半の活動報告を、2009年1月17日（土）、13:00より開催された新春YYフォーラムでパワーポイント（前湯連絡主事協力）を使って発表しました。内容は以下の通りです。

1. 第1回六甲部評議会

2008年7月19日（土）、西宮YMCA 保育園で開催 山口政紀部長の標題「悠々として急げ、ワイズライフ」のもとに、各事業主査、各クラブ会長の今年度の活動計画を発表しました。又、西日本区ファンド事業主任、島崎正剛メン（名古屋プラザ）を迎え、西日本区のファンド事業計画を聞きました。

2. 部長公式訪問

西宮クラブを除く、7クラブの第1例会に廣瀬書記、足立会計と共に訪問し、六甲部の方針と計画をアピールしました。その内、10月31日（土）のさんだクラブは創立15周年記念例会です。

3. 六甲部活動報告

神戸西 10月11日（土）、IBCである韓国・水原八達クラブとの合同例会を開催。太田会長と3名のメンが訪韓し友好を温めました。

神戸ポート 9月、アメリカ・ワシントン州、シアトルダウンタウンメトロセンタークラブとのIBC締結のため渡米しました。又、8月、恒例の真生塾夏祭に参加、たこ焼き店を出店。

芦屋 8月、デンマーク・ヘニングで開かれた国際大会に柏原会長始め5名が参加。この席でオーストラリア・エチュカYサービスクラブとのIBC締結が合意に達し、2010年横浜大会での正式締結に向け現在進行中。

西宮 12月20日（土）、他クラブからのゲスト参加も迎えクリスマス例会を開催。

宝塚 12月12日（金）宝塚ベガホールで4回目になる「市民コンサート・キャロルを歌うタベ」を開催しました。出演ボランティア、60名、観客約250名が「きよしこのよる」をフラレッシンの後共に歌いながら楽しみ、フィナーレは全員での「ハレルヤコーラス」で締め括りました。STOP・HIV/AIDS

への募金、約11万円は神戸YMCAへ。

さんだ 7月、知的障害児支援施設「かがも園」夏祭に参加。フランクフルト店を出店。これは2月のバレンタインコンサートと並ぶ2大活動の1つです。

4. チャリティラン

11月3日(月・祝)、第11回神戸YMCAチャリティランが今年もしあわせの村で開催されました。

各クラブから餅つき、ラーメン、カレー、ちじみ、ホットドッグなどの出店があり午前中にほぼ売切れ状態になると言う賑わいでした。又、各クラブからグループランへ多数のランナーも参加し盛り上げました。

5. 六甲部会 9月20日(土)~21日(日)、

香川県・余島にある神戸YMCA余島野外活動センターで、70余名のメン、メネットが集合しました。

六甲部以外からは、西日本区佐藤典子理事を始め、数名の主任が遠く熊本から参加、その他、京都、東京、阪和などからのゲストも多数迎えました。1日目には水野総主事の「発達障害児への理解」をテーマにレクチャーなど聞いた後、夕方はレストラン前の広場でバーベキュー、その後南の浜でのキャンプファイアで川上牧師の歌唱指導やフラレッスン、ゲームなどで童心に戻りました。翌朝は早朝礼拝に始まり、臨時評議会を開催してひとまず閉会、その後の自由時間をそれぞれ楽しみ帰路へ。



音を重ねる日々は心を重ねる日々に-466



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム

LOVE 代表ひがしの ようこさん

音を重ねる日々は心を重ねる日々に - 4

6 今月もお休み 演 浩一メン

三 島 浩 司メン (保育園園長)

(西宮YMCA保育部より1月号より)

あけまして おめでとうございます。

新しい年も、子ども達の健やかな成長のために、職員一同、保護者の皆様と力を合わせて頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

クリスマスからお正月、この季節はゲームが一番良く売れる時期だと思います。息子が小学校に上がる頃、ゲームの是非について保育園の保護者の方々とお話したことがあります。当時、既に様々な事件と関連付けて、幼児期からのゲームは、子ども達の成長にあまりよくないということが言われていました。私自身、ゲームを与えるのには抵抗があり、与えていませんでした。我が家に初めてゲーム機がやってきたのは、息子が小学校に入学してからだったと思います。その後、少しずつゲームの種類が増えていきました。

最初のゲーム機到来から、ゲーム機の増加。余り良く思っていなかった私とその都度折れたキーワードは「仲間はずれ」でした。息子の周りの友達が色々なゲームを手にし、ゲームで遊びが遊びの主流になっていったため、ゲームを持っていないと仲間はずれになってしまうのです。ゲーム以外で遊べばいい。ゲームを持っていない仲間を作ればいい。色々考えましたが、現実には厳しく・・・。

息子の友人達の保護者の多くもゲーム機を与えることに抵抗を感じながらも与えてしまったそうです。けれども、皆が本当に「与えたくない!」と思っているのであれば、お互いに声を掛け合って(仲の良い友人間だけでも)なんとかできなかったのかと思います。子どもの立場を守る工夫をしながらも、世の中の流れに流される事なく自分の親としての信念を貫く。そんな強さを持ちたいものです。

普段はゲーム機ばかりで遊んでいる子ども達。年末年始は、みんなでトランプやカルタ、版ゲームなどをしようとし楽しみにしているようです。本当は、子ども達も大勢でワイワイ遊べるほうが楽しいのかもしれないね。

余島からあなたへ

余島野外活動センター 山根 泉所長

「余島からあなたへ」は、しばらくお休みとさせていただきます。

リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 たなか まみ 田中 真実さん

いつもご支援ありがとうございます。

2009年1月5日～6日にかけて、サポートの子ども達24名とリーダー15名とでスノーマンキャンプへ行きました。去年の7月にも同じ子ども達と六甲山YMCAにキャンプに行ったのですが、同じ場所でも季節が変わると池に氷が張っていたり木々の葉っぱがなくなっていたり、新鮮な気持ちになりました。

キャンプに行く前にディレクターから、サポートの子ども達は普段の生活の中で何か我慢をさせられていたり叱られることが多かったりすると聞いていたので、そんな子ども達が普段と違う環境でのびのびと輝けるようにしたいと思いキャンプに望みました。

前回のキャンプでは、私はスタッフとして参加したので子どもと直接的に関わる機会があまりありませんでしたが、今回は、グループを担当させていただいて「この世の中にはこういう子もいるんだ」「こういう子がいてもオッケーなんだ」という気持ちを持つことが出来ました。キャンプ2日目になると子ども達の様子が落ち着いたように感じました。それは、1日目にあった不安がなくなったことと、安心できる友達やリーダーの存在を実感したからなのだと分かりました。他のキャンプや例会でも子どもが安心できる環境を作っていきたいと思いました。

またキャンプ全体を通して思ったことは、普段の野外活動で接している子ども達と比べて指示が通りにくいということでした。そのため、分かりやすく説明したり、気を遣ったりしなくてはならない場面も多かったです。しかし、そこから学んだことは、サポートの子どもへの接し方は普段の野外活動でも使えることで、分かりやすく具体的に物事を伝えることをこれからの活動でも生かしていけたらいいなと思いました。



西宮YMCA 三島浩司メン

中学2年生、14歳。身長も170cmを越え、体もずいぶん大きくなりました。毎日、7:00過ぎには、所属する剣道部の早朝練習に出かけていきます。14年前のあ

の朝、生後2ヶ月だった息子は、大きな揺れにもまったく気づかずすやすやと眠っていました。揺れが続いている間、私は、隣でパニックになっていた妻に布団をかぶせて押さえながら、息子の寝ているベビーベッドのほうを気にしながら、揺れが収まるのを待ちました。あれから14年。我が家では、息子の年がそのまま、あれから・・・、になっています。これまでも、そして、これからも。

年末から年始に掛けて、旧西神戸YMCAの近くへ行く機会が何度かありました。町はすっかり変わってしまい、道も広くなり、新しい家や商店が随分増えていました。が、空き地や駐車場になっている場所も多くありました。終戦から11年後の昭和31年の経済白書で「もはや戦後ではない」とうたわれたことからすると、14年後の今は「もはや震災後ではない」となるのでしょうか・・・。今もなお、戦後、そして、震災後の真っ只中にある方も沢山おられます。その方達の事を忘れることなく、平和、安全について考え、行動していけるように心がけたいと思います。

1. 新年職員礼拝とStaff of the Year 2008表彰

1月5日、新年礼拝を行い、武田寿子会長より、オバマアメリカ新大統領の「Change」、マーチン・ルーサー・キング牧師の「I have a dream!」のお話もあわせ、世界の変動、日本の”変”、そして今年のYMCAについて奨励をいただきました。礼拝の後、今年もStaff of the Yearの表彰も行いました。今年は5名の方々にStaff of the Year 2008を贈り、大きな働きに感謝を表しました。今年を受賞者は以下の方々です。

池田英基さん (CSC東灘体育館 主事職)

東灘体育館の主事として館長、事務職と連携して現場スタッフをまとめ、同体育館の評価が3から4(5段階評価)となる原動力になりました。また、地区体育館4館のリーダー的存在として、多くのスタッフから信頼を得、各館の課題解決や研修なども推進されました。

佐藤香奈子さん (三宮ランチ 事務職)

いつも皆の業務からこぼれ落ちる整理整頓を人知

れずし、またちょっとした気づきを皆に発信してくれるなど、全体をさりげなく支える貴重な働きをされました。事務所の人員が不足する夏期なども、落ち着いて周囲に目を配りしっかり支えてくださり、全体に落ち着きと安心、潤いを与えてくださいました。

伏石健一さん(余島センター 嘱託職員)

余島の顔、2代目オリーブ丸の船長として、毎年1万人近いお客様の渡船を安全に遂行し、荒れ狂う海も珍しくないほど厳しい自然環境の中で、冷静に状況を判断し、徹底した安全管理の下、人命第一で対処しています。閑散期には痛んだ舟艇類の修理や、枯木の伐採、施設の修繕など、時間をかけて丁寧にメンテナンス業務を進めてくださっています。

関 博さん(カレッジ 準専任講師)

多くの留学生を抱える日本語学科として、初めての中国出身スタッフであり、優秀な日本語力によって通訳者として学生ケア、特に生活面・心理面のサポートに取り組まれました。学校業務全般をこなし、学生への面接補助に加え、新規入学希望者選考のために、現地中国での試験、面接、書類審査などを行い、申請業務の推進にも大きな力となりました。

落合 由香さん(西神戸ブランチ 準専任講師)

サポートプログラムの中心的な存在として、学校では理解されにくいメンバーの社会性や学力を養うため、一人ひとりに合わせたクラスの準備を丁寧にされています。メンバーだけでなく、保護者に向けても丁寧なケアで信頼を得ています。また、西神戸だけでなく西宮のクラスも担当したり、LD学会や講演会など神戸YMCA全体としてサポートプログラムの推進役として活躍してくださいました。

2. 韓国・水原(スーオン)YMCAスタッフ、来日

1月7日～10日、神戸YMCAのパートナーYMCAの一つである韓国・水原YMCAのスタッフ、イー・サンミョンさんとチョン・ドンゴンさんが来日され、神戸YMCAの視察と交流をされました。水原YMCAも行政からの委託事業が始まり、拡充期にあるということで、神戸YMCAの活動現場を視察したいという要望があり、文化体育館、学園都市会館、保育園、三宮会館、西宮会館、ユースプラザと短い間に精力的に視察、研修されました。西宮関係では、用海の学童保育や保育園を訪れ、

松本祐子さん(元西宮YMCA職員)に通訳をしていただきながら、子どもたちとお互いに質問をするなど、和やかな交流が図られました。

3. 新春YY(ワイワイ)フォーラム、開催

1月17日、恒例のワイワイフォーラムが、ワイズ、ボランティアリーダー、一般会員、職員、講師など約120名の参加者を得て開催されました。今年は「生きる力」ってどんな力? ということをテーマに、中道基夫副会長による開会礼拝、リーダーVSワイズの「金」か「愛」というディベート、10分団に分かれてのディスカッション、ぜんざいの振る舞いはさんでのまとめの会と進められ、「生きる力」についての話し合いが持たれました。

(詳細は、長井メンの報告をご覧ください。)

4. 神戸YMCA春のプログラム及び新年度メンバー募集中

神戸YMCAでは、春休みのスキーキャンプや余島でのキャンプ、また、新年度の件バーを募集しています。また、お知り合いとうご紹介くださいますよう、ご協力よろしくお願ひいたします。

5. 神戸YMCA維持会員増強月間

神戸YMCAでは、今年度もこの2月を維持会員獲得強化月間としています。是非、イベントと等にお知り合いの方々をお誘ひいただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

6. 今後の予定

1) 維持会員のつどい

日時：2月21日 13:30～17:30

場所：神戸YMCAチャペル及びサイコー亭

内容：「日本のユーモア 落語に親しむ」

※落語会のあと、落語家さん・下座さんを囲んでお話をうかがいます。

出演：林家染左氏他

会費：第1部(落語会) 500円

第2部(囲む会) 1500円

2) 第21回 午餐会

日時：2月28日 12:00～14:30

場所：神戸YMCA 4F サイコー亭

テーマ：「戦争文化から平和文化へ」

講師：スティーブ・リーパー氏

(財) 広島平和文化センター理事長)

会費：3,000円

トピックス・とびっくす@

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、環境省が所管している「動物の保護及び管理に関する法律」とは、を前回に続いて紹介しましょう。

② 概要

2. 動物を適正に取り扱うガイドライン

家庭動物（家庭で飼われているペットや学校飼育動物）、展示動物（展示やふれあいのために飼われている動物（動物園、ふれあい施設、ペットショップ、ブリーダー、動物プロダクションなど）、産業動物（牛や馬など産業利用のために飼われている動物）、実験動物（科学的目的のために研究施設などで飼われている動物）のそれぞれについて、適正に動物を取り扱うためのガイドラインが定められています。また、動物を殺す場合には、できる限りその動物に苦痛を与えない方法で行なわなければなりません。〈動物は哺乳類、鳥類、爬虫類が対象です

ります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

アメリカではオバマ大統領が国民の歓喜のうちに誕生いたしました。その選挙の中で、“Change”と“Yes, we can!”という言葉が国民の心に響いたようです。1月の半年



報は、前期に比べて14名増の1,684名でした。私たちも心をチェンジし、2000名はできると進んでまいりましょう。

インフルエンザも猛威をふるっております。健康に留意しながらワイズ活動を進めましょう。



2009年2月号

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理 事 通 信

西日本区理事 佐藤 典子

立春も近づいて参りましたが、まだ寒のうち、暖かい日と寒い日が交互にあらわれるような気候が続いておりますが、お変わりございませんでしょうか。



早いもので、この

1月10-11

日には次期役員研修会を開催いたしました。昨年後半から経済危機が話題となり、多くの方々が仕事を失い、大企業も収益が悪化するという社会情勢となっています。また、パレスチナでは平和が脅かされ、罪のない人々が傷つき、その中でガザ YMCA は使命を持って活動を続けています。日本 YMCA 同盟では、同封のようにパレスチナ・ガザ YMCA を通して支援活動を開始しようとしてお

編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

理事通信を区事務局より送付いただいておりますので一部を抜粋してご紹介させていただきました。梅のカットやバレンタインチョコのカットも借用させていただきました。

今月も西宮 YMCA で PDF 変換をお願いし皆さんに返還させていただきました。発信元が小生と違うためか、受信に気がつかれないかたもおられた様子。お間違えなく。

西日本区大会の案内が届きましたか？みんな揃って熊本に行きましょう。美味しいものも一杯ですよ。

ワイワイフォーラム、盛況裡に閉会。数度に及ぶ打ち合わせも皆さんの協力と熱意で報われました。

2月14日は学園都市クラブの15周年、2月15日はさんたクラブのバレンタインコンサート、さらには神戸 YMCA の行事も目白押し。六甲部各クラブもそれぞれの思いのこもった例会が次々と計画されている模様。思いやりで楽しい会を・・・